

日立の気象 (102)

日立市における気象観測 (3) ～天気相談所設立と神峰山観測所の閉鎖～

・最低気温 氷点下 12.6℃

昭和 20 年 2 月 4 日

※旧神峰山観測所は市の防災無線中継局として現在も利用されています。

【8月の気象暦と過去の観測記録】

気象庁の予報用語に新たに「**猛暑日**」(最高気温 35℃以上の日)が加えられました。日立の猛暑日は 1953～2006 年の間に **33 日** 観測されていますが、特に **1994 年以降は 28 日と急増**しています。

▽ 4 日 日降水量 214mm (1986 年)

(発達した低気圧による)

▽ 8 日 「立秋」(二十四節気)

▽ 14 日 滑川市民広場に落雷、軟式野球中の 2 名死亡 (1966 年)

▽ 15 日 最高気温極値 38.5℃(1996 年)

(南西風のフェーン現象による)

▽ 23 日 「処暑」(二十四節気)

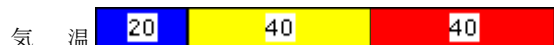
日立の気候表

	7 月	8 月	9 月
平均気温	22.9℃	24.8℃	21.6℃
降水量	142.4mm	148.2mm	197.9mm
日照時間	136.2 時間	181.3 時間	129.8 時間

平年値 (1971～2000 年)

< 8 月の気温・降水量予報(関東甲信地方) >

8 月の気温は平年並みか高く、降水量は平年並みと予想されています。



低い 平年並 高い



少ない 平年並 多い

日立鉱山の観測所として最後まで残されていた神峰山観測所と瑞竜観測所(現在の常陸太田市瑞竜町)は、昭和 27 年(1952) 2 月で廃止されることになり、長年の観測記録は「気象三十五年報」(日立鉱業所発行)としてまとめられました。

神峰山観測所については県北の貴重な観測点でもあったため、気象庁からも廃止を惜しむ声があり、その後日立市に移管され同年 6 月 1 日に全国初の市営の天気相談所が発足しました。



日立鉱山時代の神峰山観測所気象観測計器

(日立市郷土博物館蔵)

神峰山観測所は市に移管された後も所員の常駐が続き、気象観測や山火事等の監視業務を行いましたが、昭和 48 年(1973) 3 月には無人化され、平成 15 年(2003) 3 月 31 日で正式廃止となり、明治 43 年(1910)6 月から 92 年間続いた神峰山観測所の歴史に終止符が打たれました。

その間に標高 598m の神峰山頂で観測された気象の記録極値は次のとおりです。

・最大風速 南東 44.2m/s (台風)

大正 6 年 10 月 1 日

・最大日降水量 334mm (梅雨前線)

昭和 13 年 6 月 29 日

・最深積雪 70cm (低気圧)

昭和 11 年 2 月 5 日

・最高気温 34.2℃ 昭和 30 年 7 月 31 日

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~hteniso>

行政放送(ケーブルテレビ 5ch)でも定期的に天気予報をお知らせしています。

電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。